

講義科目	: 児童福祉論	単位数	: 2
担当	: 笠松 成夫	学習形態	: 選択科目
			社会福祉士必修科目
		実務経験	: 有

講義の内容・方法および到達目標

1. 現代社会における児童の成長・発達と生活実態について理解すると共に、児童福祉の社会的背景における愛着・愛着障害・虐待・DVについて理解する。
2. 現代社会における児童福祉の理念と意義について理解する。又、子どもへの自尊心を子育ての中にどう組み入れるか、子どもへの自信、子育て環境を親が確保するには…
3. 児童虐待と脳萎縮について理解を深める(不適切な養育は子どもの身体的・精神的発達を阻害し成人、大人になってもその支障をきたす可能性がある)
4. 親の体罰禁止、2020年4月から施行 改正児童虐待防止法が成立(2019, 6, 19)

授業計画

- 第1回 現代社会と児童: 人間の成長・発達と児童・家族と児童・社会と児童
- 第2回 現代社会と児童福祉: 児童福祉の理念の発達・概念と範囲
- 第3回 現代社会と子ども家庭: 社会的養護と家庭環境の問題・育ちと愛着
- 第4回 子ども家庭に関わる福祉・保健: 一人親家庭の福祉・児童健全育成・保育
- 第5回 ボウルビイの愛着: 愛着とは? 愛着形成過程と愛着行動の種類
- 第6回 ボウルビイの愛着: その愛着障害
- 第7回 愛着とトラウマ
- 第8回 発達障害とトラウマ
- 第9回 児童の権利及び児童虐待: マルトリートメント(不適切な養育)の原因
- 第10回 児童の権利及び児童虐待: マルトリートメントとこころの成長
- 第11回 児童の権利及び児童虐待: マルトリートメントとトラウマ・DV
- 第12回 児童の権利及び児童虐待: マルトリートメントにおける脳萎縮と人生
- 第13回 児童の権利及び児童虐待: マルトリートメントにおける家庭支援
- 第14回 児童福祉に関する法の目的: 児童福祉法・母子および寡婦福祉法等
- 第15回 児童に対する相談援助活動: ジェノグラムとエコマップで具体事例

教材・テキスト・参考文献等

教科書は使用しない。参考文献は適宜紹介するが、以下4点を示す。

- ① 西澤 哲 著者 子どもの虐待と被虐待児への臨床心理的アプローチ
- ② 子ども虐待の防止とケア研究会 編著 子ども虐待の防止とケアのすべて 第一法規
- ③ 友田 明美 著者 児童虐待と傷ついていく脳「いやされない傷」…他

成績評価方法

1. 出席を毎回取る.5回を超える欠席をした場合には評価の対象外とする
2. 定期テストレポート60%及び平常点40%講義中小レポート提出・総合評価

実務経験

児童養護施設職員さらに施設長を経て、現場経験を活かした児童福祉に関した内容をもって講義します。

その他(学生へのメッセージ)

子育ての分野で親子の絆、愛着、子育て環境について考え、これからの社会をどう見直し、学生が青年期を迎え子育てしやすい社会作りとは何かを創作していく。また児童虐待の相談受件数が2019年19万3780件等、子どもの権利侵害の状況は深刻化しており、犠牲になった子どもの心身の回復や自立支援を含めて社会的養護の体制整備が課題となっている。社会的養護の対象となる約4万5千人(平成30年6月現在)児童養護施設実態・ケースに触れ、虐待や貧困の連鎖を断つ…には、子どもの本当の安心基地は…? その取り巻く環境で大人として子どもへのモデル化をどのようにしていければいいかについて、一人ひとりの考えや意見をレポートに提出する。